

近畿地方整備局
阪神国道工事事務所

平成13年 1月30日14時

資料配付

件 名

環境保全に配慮した公用車の導入について

近畿地方整備局では、低環境負荷型の公用車自動車を
阪神国道工事事務所に導入

取 扱

配布場所

近畿建設記者クラブ
大手前記者クラブ
兵庫県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省近畿地方整備局
道路部 機械課 課長補佐 小段 栄一
電話：06-6942-1141（内線4452）
阪神国道工事事務所 副 所 長 志間 文雄
電話：0797-32-2151（内線204）

環境保全に配慮した公用車の導入

近畿地方整備局では、低環境負荷型の公用車自動車を
阪神国道工事事務所に導入

国土交通省近畿地方整備局は、「地球温暖化対策推進大綱」に基づき、阪神国道工事事務所（所在地：兵庫県芦屋市）の公用車に低環境負荷型自動車を導入し、環境保全に配慮しました。

低環境負荷型自動車の導入により、従来の公用車に比べ、光化学スモッグ・酸性雨などの環境汚染を招く窒素酸化物（ NO_x ）、炭化水素（ HC ）の排出量がともに25％に、一酸化炭素（ CO ）の排出量が約30％にまで低減することができ、排出ガスのクリーン化が可能になりました。

近畿地方整備局では、道路沿道環境の改善を図るため、低公害車・低環境負荷自動車の導入を、積極的に推進しており、現在までに56台が配備運用されています。

◇低環境負荷型自動車の仕様

□車 輛 型 式：2000CCの小型乗用車

□排 出 ガ ス：窒素酸化物（NO_x）[10.15モード] : 0.06g/Km

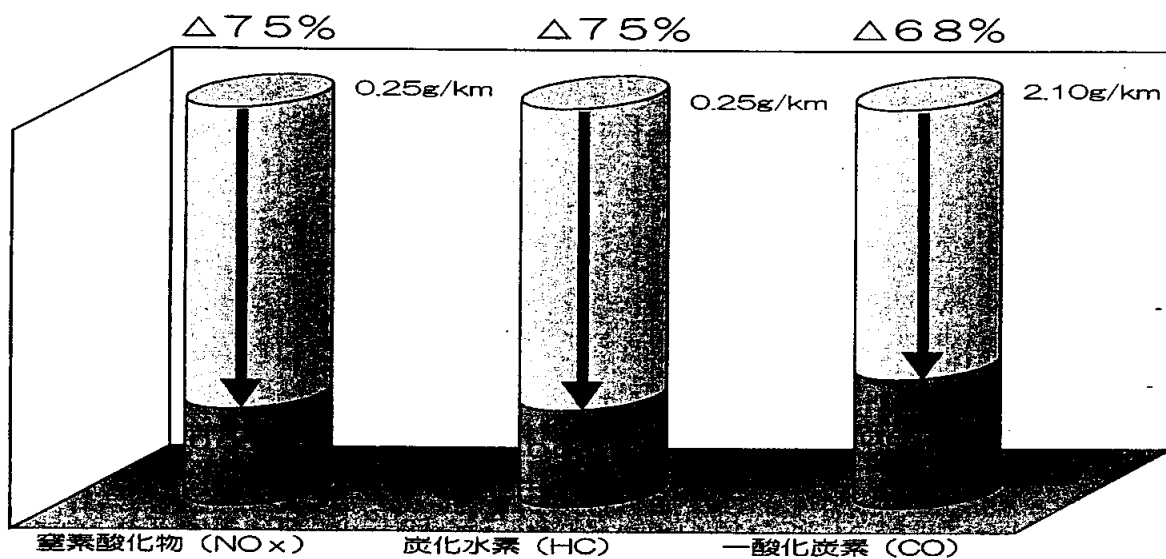
炭 化 水 素（HC）[10.15モード] : 0.06g/Km

一酸化炭素（CO）[10.15モード] : 0.67g/Km

※「平成12年新排出ガス規制」に適合、

及び「平成12年基準排出ガス25%低減レベル」を達成

低環境負荷型公用車の環境改善効果



□その他の環境対策：エンジンアンダーカバー等に再生ポリプロピレンを使用し、

バンパー等にもリサイクル性に優れた熱可塑性樹脂を使用しました。

◇導入車輛

